



がん化学療法看護認定看護師

ひろせ
廣瀬 さゆり
(呼吸器内科病棟)

もり かよ
森 香予
(外科・血液内科病棟)

きむら みちよ
木村 美智代
(外来化学療法室)

今月は**免疫チェックポイント阻害薬に関連する有害事象**について紹介します。

免疫チェックポイント阻害薬は、従来の殺細胞性抗がん薬と異なる作用機序をもつため、副作用が異なります。一般的にT細胞が全身の各臓器に浸潤して免疫反応を起こし、自己免疫疾患に類似した症状を引き起こします。これらは**免疫関連有害事象 (immune-related adverse event : irAE)** とよばれます。



免疫関連有害事象は、適切な処置を行うことでコントロールできます。そのため正しい知識を持ち、異常の早期発見、対応が必要です。当院の外来では、治療前に医師と看護師で協力して問診を行っています。病棟でも安全に治療が導入できるように、多職種で連携に努めています。私たち認定看護師は、**化学療法の正しい理解・副作用の早期発見と対応・安心できる治療環境を提供できるように看護を実践**してまいります。

〈以下は特徴的な副作用症状です。ご参照ください。〉

▶ブドウ膜炎
目のかすみ 見えにくい
ものが二重に見える

▶肝機能障害
肝炎、硬化性胆管炎
倦怠感 悪心 食欲不振

▶I型糖尿病
口渇 多飲 多尿 体重減少

▶大腸炎
血便、黒色便、頻回な下痢
腹膜刺激症状 腹痛

▶脳炎
発熱 頭痛 嘔吐

▶腎障害
浮腫 尿量減少 倦怠感など

▶副腎障害
低血糖 全身倦怠感 脱水 食欲低下
悪心・嘔吐

▶皮膚障害
皮膚の痒み 発疹 広範囲の紅斑
粘膜疹 水疱 ひどい口腔粘膜炎
倦怠感 発熱

▶神経症状
運動の麻痺、感覚の麻痺 手足の痺れや痛み

その他▶投与時のアレルギー症状

(インフュージョンリアクション)

いつでもお気軽に認定看護師にご相談ください。